



大自然の中で支え合う 5年 区界野外活動

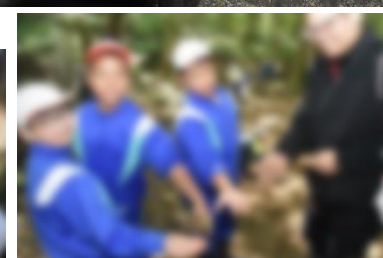
9月16日(水)・17日(木)と、区界高原少年自然の家で5年生の野外活動が行われました。「大自然の中で支え合う ～ぼくらの進化は止まらない～」のスローガンのもと、夏休み明けから準備を進めてきました。

1日目は、閉伊川の源流探索、兜山登山、追跡ハイクとキャンプファイヤー、2日目は自分たちで起こした火を使った野外炊事(カレー作り)、水晶探しなどを行いました。

特にキャンプファイヤーでは、フォークダンスで学年が一つになる喜びを感じ、各学級の出し物ではそれぞれ練習を重ねた劇などに声援を送り合い、楽しいひと時を過ごしました。

この2日間で、自然の雄大さ、火の力の大きさ、支え合う仲間の素晴らしさ、そして家族のありがたさを感じたことと思います。貴重な経験をした5年生の子供たちが、最高学年に向けてさらに進化し、真の見小のリーダーとなっていくことを期待しています。

保護者の皆様には、準備や体調管理の面でお世話いただき、ありがとうございました。



見ている人はどうする？

「いじめ」について考える あおぞら集会

9月15日(火)に、児童会執行部の企画で「いじめ」について考えるあおぞら集会を行いました。

執行部のみなさんが、「わたしのせいじゃない」という絵本を、スライドを映しながら読み聞かせしました。絵本には、「(いじめを)他の人が始めた」「自分が始めたわけじゃない」「みんなもやっていた」「大勢の人がやっていた」「(見ていて)何もできなかった」といった文があり、良くないと思っても加わってしまったり、見ていても止められなかったりした、誰しもがもつ心の弱さが伝わってきました。

執行部のまとめの後、全校に感想をインタビューする場面がありました。学年ごとに聞きましたが、全校の場でも手を挙げて感想を伝えようとした子供がいて、素晴らしかったです。子供たちからは、「自分がいじめを始めたのでもなく、加わってしまったら、いじめはいじめ」「いじめを見たら、注意したり先生や大人に知らせたりしたい」といった感想が出されました。

この子供たちの思いを、みんなが安心して過ごせる学校づくりにつなげていきます。



ころころくるりん 体育 マットを使った学習

体育の時間に、マットを使った学習をしています。1・2年生はマットを使った運動遊びとして、転がる・回る・支えるなど、いろいろな動きを楽しんでいます。3年生以上はマット運動として、これまでの学習を生かして様々な技に挑戦しています。

1年3組の「マットランドたんけんたい!~ころころくるりんへんしんだ!~」の学習では、それまでのいろいろな動物歩きや転がる動きなどを使い、グループごとにコースづくりをしました。いろいろな動きが入るように相談したり、実際に試したりしながら、友達と一緒に楽しみながら何度も繰り返す姿が見られました。運動量の確保とベップトークの大切さを感じました。



9月13日(日)に、盛岡八幡宮例大祭で巡行を行う見前組の山車が、見前小学校に立ち寄ってくださいました。

見前地区から初の巡行ということで、豪華な山車を間近で楽しむことができました。このような機会をいただき、見前組山車巡行委員会の皆様、ありがとうございました。おめでとうございます。

